



むかわ町恐竜ワールド構想推進計画＜概要版＞

2016年度～2020年度

基本理念

化石にふれあい、化石に学ぶ ～恐竜化石の発見を郷土愛を育む活動へ～
化石を活かし、化石と生きる ～恐竜化石の発見を持続可能なまちづくりへ～

「むかわ町恐竜ワールド構想」は、「むかわ版地方創生事業」のシンボル事業であり、まちの活性化を実現するために、平成29年3月、総合的に具体的な推進計画を策定しました。

まちづくりの方向性

本町が有する「恐竜ワールド」の世界観は他の地域に比べても優位性があり、強みであると言えます。この強みを活かし、今後のまちづくりの方向性として、次の3つの段階を確実にかつ大胆に推進していきます。

第1段階 博物館や発掘現場等の核となる施設やエリアの魅力向上

第2段階 核となる資源を活かした付加価値の向上（産業創出、観光商品／グルメ開発等）

第3段階 恐竜以外の地域資源を活用し、町全域をステージとした魅力向上



町全体をステージと見立て
太古の自然を活かした
「恐竜ワールド エリアゾーニング」

交流・学習・産業ゾーン

世界的に注目されている恐竜化石を核としたエリア
学術的価値の高い化石を保有する博物館での学習・研究、クリーニング体験、レプリカ等の製造、特産品や観光商品開発等、核となる産業活動の展開



体験ゾーン

発掘体験や野外活動を中心としたエリア
ガイドが付く発掘現場での本格的な発掘体験や清流下り、食事・宿泊（キャンプ）等の野外活動を提供する

情報発信ゾーン

四季の館・ぼぼんた市場を拠点としむかわ町全体の魅力を発信するエリア
むかわ町の玄関口となるこのエリアに、化石関連の商品や特産品、体験プログラム等、地域資源の魅力を訴求する情報発信機能を持たせ、町全体への周遊を促進



まちづくりの全体像 ➡ 4つの柱と5つのマーケティング戦略

「恐竜化石を活かしたまちづくり」を実践するために、まちづくりの全体像として【4つの柱】と【5つのマーケティング戦略】を策定しました。

具体的な施策・アクションプラン（抜粋）

柱1

町民の気運醸成

- 「恐竜ワールド構想」の普及・浸透
- 講演会、セミナーの開催
- 学校及び教育機関等との連携



柱2

マーケティング戦略

戦略1
核となる施設の魅力向上

- 複合的施設整備
- 学習意欲向上に向けたプログラム（化石クラブ等）の実施
- ガイド等の育成・案内活動

戦略2
調査・研究・マーケティング

- 観光事業者に向けたヒアリング調査
- マーケティング戦略の進捗管理
- 各種施策のブランド管理

戦略3
地域資源を活用した産業振興

- フィギュア・化石骨格標本などの製品化
- 恐竜・化石等地域資源を活かした観光商品・グルメ等の開発
- 産業化・起業化支援

戦略4
広報・情報発信・プロモーション

- 情報発信力の強化
- 四季の館・ぼぼんた市場での情報発信
- 企業等との連携
- むかわブランドの浸透

戦略5
受入環境の拡充

- 発掘現場保全等の取組み
- 観光客受入体制の充実

柱3

推進母体整備

- 恐竜ワールドセンターの活動支援
- 地域資源案内ガイド育成のための研修実施
- ガイド認定制度の導入



柱4

学術団体等の連携

- 恐竜のまちとの連携（国内・海外）
- 国内外の博物館との交流・提携
- 大学等との連携

